

維新八策

先進国をリードする
脱原発依存体制の構築

を掲げているけれど…

「脱原発依存」は、福井・大飯原発の再稼働を強行した、野田・民主党と同じスローガン。いったい、どこがちがうのでしょうか？ 維新八策からは、野田政権との違いは見えません。

しかも 姿勢がコロコロ

変節



大飯原発再稼働問題で「民主党政権を倒す」と言っていたのに、わずか1カ月半で「建前論ばかり言っていてもしようがない。事実上の容認ですよ」と変節。しかも、関西電力の森洋介会長らとの密談で、再稼働容認を自ら提案していたというあきれぶり。

見苦しい
言いわけ



「電力が足りないから原発が必要というのは『サインしなければ命がどうなるかわからない』という靈感商法と同じ」（2011年6月29日）と発言していたのに、電力不足を盛んに強調して再稼働容認へ。

国民の声
つき離す



「反対の声が10万あっても、やらなければならないときはやる。それが政治」（7月2日）と、首相官邸前行動で示された国民の思いをつき離しています。

ところが

いまさら「原発やめよ」とは

最近、再び「大飯原発止めよ」と言いだしていますが、とても信用できません。しかも、「関西電力管内だけで考えれば、やっぱり電力は足りなかった」（8月29日）と、再稼働を容認したことについての無反省ぶりにもあきれます。

「即時原発ゼロ」を実現することを強くもとめます

野田政権の「原発稼働ゼロ」は、目標の期限も行程も明らかに示さない不確かなものです。しかも、「原発稼働ゼロは2030年代（2039年まで）」と先延ばし、大間原発の建設はすすめるなど、「原発は今すぐやめて！」と求める国民の願いとはかけ離れたものです。しかも、それでさえ猛反発の財界や懸念を表明したアメリカの顔色をうかがい、閣議決定を見送りました。野田政権には、本気で「原発ゼロ」を実現する立場がないことは、浮き彫りになっています。

日本は、世界でも有数の地震と火山の国。この日本で原発が被害を受ければ、取り返しのつかない大災害になります。けっして、「原発ゼロ」を後退させてはいけません。

日本共産党の考えは

ただちに原発からの撤退を決断すべきであり
核燃料サイクルも中止すべきです

原爆の材料にもなる
危険なプルトニウム
が増え続けるだけ！